

資料編

すみだ観光の現状

1. 観光特性

■江戸の行楽地の伝統

江戸時代から庶民の行楽地として栄えてきたので、隅田川の花火、大相撲、伝統工芸、史跡や老舗など、多彩な伝統的な文化が残っている。

■下町の雰囲気

ユニークな製品を送り出す町工場、大正・昭和の面影を残す商店街や路地、区民の日常生活から醸しだされる、生活に根づいた「下町の雰囲気」が感じられる。

■粋な風情

歌舞伎や落語の舞台、葛飾北斎をはじめ近世・近代の文豪・画家などの著名人ゆかりの場所が多く、粋人・墨客が愛したいき（粋）な風情が残っている。

■イベントや祭り

隅田川の花火をはじめ年間を通じて、大小のイベントや祭りが区内各地で開催されている。

■「食」の魅力

有名な和菓子の老舗、ちゃんこ鍋、もんじゃ焼きをはじめ、エスニックレストランが集積するエリアなど、魅力的な「食」文化がある。

■災害や防災の学習拠点

東京慰霊堂・復興記念館、本所防災館・白鬚防災拠点等を訪ねて、多くの死亡者が出た関東大震災や東京大空襲などの歴史を振り返るとともに、平和や防災について学ぶことができる。

■交通が便利な街

区にはJRのほか各種鉄道路線が乗り入れていて、どこからでも訪ねやすい。また区内全域が平坦な地形で、まち歩き観光の基礎的な条件を備えている。

■豊富な素材を光らせる仕組み

観光素材を上手に光らせる墨田区らしい仕組みとして、次のようなものがある。

小さな博物館……知られていない産業製品や資料・文献などのコレクションを公開して、すみだの産業と文化を区内外に広くPRしている。（現在 25 館）

工房ショップ……製造と販売が一体化し、製造工程を見学できる新しい店舗。（現在 22 店）

すみだマイスター…すみだの産業を支え、付加価値の高い製品づくりの技術を体得したと認定された技術者。（現在 38 人）

墨田区銘品名店会…区内の飲食・物販の老舗店が会を結成している。（現在 47 店）

2. 観光資源

(1) 神社・仏閣

区内には、大小多数の神社・仏閣が立地している。特に隅田川七福神巡り（多聞寺・白鬚神社・百花園・長命寺・弘福寺・三囲神社）には、毎年大勢の初詣客が訪れている。また、鼠小僧の墓や明暦の大火で知られる回向院、5年に1度の大祭で知られる牛嶋神社、梅園で有名な香取神社など、集客力の高い神社・仏閣がいくつかある。

一方で、近代的な建物に建て替えられ、観光資源としての風情や趣に乏しいものもある。現在、観光パンフレットやホームページ等では、これらの神社・仏閣を同じレベルで取り上げているが、今後は、観光資源としての評価を定め、観光資源として活用できるものとできないものを取捨選択することも必要である。

[主な神社・仏閣]

No.	名称	所在地	特色
1	隅田川神社	堤 通 2-17-1	古くは水神宮または浮島の宮と称したが、明治5年に改称。隅田川の総鎮守として、船頭や荷船仲間に広く深く信仰されてきた。本殿、拜殿とも幕末の建築で、狛犬の代わりに、亀が左右に鎮座している。
2	隅田稲荷神社	墨 田 4-38-13	天文年間、伊豆から逃れてこの地を開拓した堀越公方政知の家臣江川善左衛門雅門が、伏見稲荷大神を勧請し氏神としてまつたのが始まりで「善左衛門稲荷」とも呼ばれる。大祭には万燈御輿を担ぎ、賑わう。
3	白鬚神社	東 向 島 3-5-2	昔は境内に松、樺などが多く繁り、白鬚の森と呼ばれ、向島八景、隅田川二十四景にも数えられる、緑の美しいところだった。七福神の寿老神をまつる。
4	白髭神社	立 花 6-19-17	旧葛西川村の鎮守で、本殿横に移された鳥居は三囲神社の二基に次ぐ古さ。平成14年に二百二十年祭。
5	三輪里稲荷神社	八 広 3-6-13	慶長19年、出羽国湯殿山の修験者大日坊が、羽黒大神の分霊を鎮守したとされる。2月上旬の初午にはのどの病に効くという「こんにやく護符」を買い求める参拝客で賑わう。
6	秋葉神社	向 島 4-9-13	祭神は火産霊命、宇伽御魂命を主神とし、鎮火の神として諸大名に崇敬されていた。
7	飛木稲荷神社	押 上 2-39-6	本殿前の鳥居は寛政9年の建立、御神木のいちょうの木は区内一の大木である。
8	三囲神社	向 島 2-5-17	元禄6年の江戸かんばつ折、俳人宝井其角が句を詠み奉納すると、翌日大雨が降ったと伝えられる。「雨乞いの句碑」がある。七福神の恵比寿・大黒をまつる。
9	牛嶋神社	向 島 1-4-5	本所牛嶋の総鎮守社で、以前は隅田公園の北寄りにあった。境内には「なで牛」があり、心身快癒の祈願物として信仰されている。五年に一度の大祭では、鳳輦（牛車）を中心とする古式豊かな行列が、氏子五十町安泰祈願巡行をする。
10	香取神社	文 花 2-5-8	平安時代末期、当地開拓のため千葉県香取郡から六軒の人々が移住し、香取神宮の御分霊を鎮守。文政年間の石灯笼などがある、産業開発・開拓、海上守護、心願成就、縁結び、安産、交通安全、災難よけ等。美しい花梅の香梅園としても親しまれている。
11	吾嬬神社	立 花 1-1-15	こもりと茂った森林のある神域を持った名社で、祭神は弟橘姫命を主体とし、相殿に日本武尊を祭っている。
12	江島杉山神社	千 歳 1-8-2	杉山流鍼術始祖、杉山検校が将軍綱吉からの拝領地に江の島弁財天をまつったもの。
13	高木神社	押 上 2-37-9	応仁2年創建と伝えられ、境内にある狛犬は左右同形で、阿・吽の区別がない。
14	野見宿禰神社	亀 沢 2-8-10	相撲の開祖野見宿禰をまつり、明治になって建立された。境内には歴代横綱の石碑がある。
15	多聞寺	墨 田 5-31-13	創建は天徳2年。茅葺の山門は、慶安2年に建造された区内最古の建造物。境内には狸塚、映画人の碑がある。

16	木母寺	堤 通 2-16-1	謡曲「隅田川」をはじめとする梅若伝説発祥の地。境内の三遊塚は山岡鉄舟筆。
17	正福寺	墨 田 2-6-20	宝治2年の銘が刻まれた都内最古の板碑がある。寺門近くの「首塚」は首から上の病にご利益がある。
18	法泉寺	東 向 島 3-8-1	平安から鎌倉にかけての葛西氏の菩提寺ともいわれる古刹。窪俊満の歌碑がある。
19	蓮花寺	東 向 島 3-23-17	寺島の地名のいわれともなった古刹。江戸時代には靈験あらたかな厄除け寺島大師として有名。
20	長命寺	向 島 5-4-4	将軍家光が鷹狩の際、腹痛を起こし、寺の井戸水を飲んで治まったことから、長命寺の寺号がある。
21	弘福寺	向 島 5-3-2	黄檗宗の名刹。咳や口中の病に効く咳の爺婆尊がある。勝海舟も青年時代にこの寺で修行した。
22	東漸寺	立 花 6-17-4	浅草寺の隠居寺としても知られ、板坂如春の墓、宝暦13年の庚申塔（道標）がある。
23	円通寺	押 上 2-39-6	浅草寺末の天台宗の寺院で、応仁元年創建。明治期に土地の人が掘り起こした北向地藏尊をまつている。
24	如意輪寺	吾 妻 橋 1-22-14	嘉祥2年、慈覚大師円仁の創建とされ、境内に水戸家の家臣雪斎の書による聖徳太子の石額がある。
25	清雄寺	吾 妻 橋 2-14-6	本門佛立宗で京都妙蓮寺の末寺。墓所に、二所ノ関、玉錦、竹本土佐太夫らの墓がある。
26	春慶寺	業 平 2-14-9	江戸時代には「押上の普賢」とよばれていた。「東海道四谷怪談」で知られる、鶴屋南北の墓がある。
27	法性寺	業 平 5-7-7	柳島妙見と呼ばれ江戸時代から信仰する人が多かった。境内には江戸城の鬼門よけとして置かれた妙見堂と松の古木がある。
28	福巖寺	東 駒 形 3-21-3	三代将軍家光が寄進したという朱塗りの門により「赤門寺」と呼ばれている。赤穂浪士討ち入りを手助けした、大石三平の墓がある。
29	桃青寺	東 駒 形 3-15-10	芭蕉が江戸出府後、数年間寄寓したといわれ、芭蕉の俳号「桃青」を寺号とした蕉門ゆかりの寺である。
30	本法寺	横 川 1-12-12	狩野元信の墓がある。現在の墓は、昭和30年に建立されたもの。
31	能勢妙見堂	本 所 4-6-14	大阪能勢妙見堂別院。勝海舟の父が、息子の全快を祈り水ごりをとった場所。
32	法恩寺	太 平 1-26-16	江戸城を築いた大田道灌が平河町に建立し、江戸城拡張のため、元禄元年本所に移された。境内には開都五百周年記念碑などがある。
33	要津寺	千 歳 2-1-16	臨済宗京都妙心寺の末寺。慶安年間に創建され、消失のため現在地に再興。芭蕉一門ゆかりの寺として名高い。
34	回向院	両 国 2-8-10	江戸明暦の振袖火事の死者10万人の無縁仏養護碑や鼠小僧の墓がある。天明から勧進相撲を開催した。

参考：「墨田区観光プラン策定に向けた観光資源基礎調査報告書」（平成16年3月）、墨田区文化観光協会ホームページ、墨田区ホームページ、宗教法人 東京都神社庁ホームページ 他

（2）名所・旧跡

区内の名所・旧跡としては、江戸町民の憩いの空間として親しまれてきた向島百花園が有名である。百花園では、四季を通じてさまざまな催しが開催されており、現在も多くの人で賑わっている。

墨田区は、世界的な浮世絵師葛飾北斎の生誕地として知られている。また、区内には、芥川龍之介や森鴎外の生育の地、幸田露伴や小林一茶の住居跡など文人墨客に関する名所・旧跡が多く、記念碑や文学碑・句碑等が立っている。吉良邸跡（本所松坂町公園）や大高源吾の句碑など忠臣蔵に関する史跡もある。さらに歌舞伎、小説、落語等の舞台としても多数描かれている。

しかしこれらの名所・旧跡は、当時の面影を現すものがほとんど残っておらず、一部に解説板等が立つのみである。

〔主な名所・旧跡〕

No.	名称	所在地	特色
1	成林庵	墨田 2-11-12	貞享2年創建の尼寺。尾張徳川家の寄進した葵の紋の什器具が保存されている。
2	榎本武揚像	堤通 2-6-10	晩年を向島で過ごしたという榎本武揚像が梅若公園にある。長沼守敬の作。
3	地藏尊と庚申堂	八広 5-32	享保5年の地藏尊や庚申塔があり、観音菩薩立像も安置されている。
4	幸田露伴の文学碑 (露伴児童公園内)	東向島 1-7-11	「五重塔」その他で知られる文豪・露伴は明治から大正にかけて、東向島に住んだ。文学碑には名作「運命」の一節が刻まれている。
5	向島百花園	東向島 3-18-3	山草・野草を中心とした文人趣味豊かな江戸花園。文人墨客が足しげく通い、四季を通じてさまざまな催し物が開かれた。芭蕉句碑や山上憶良歌碑など多くの碑が立つ。七福神の福祿寿まつる。
6	墨堤植桜の碑	向島 5-4	墨堤の桜は享保2年、將軍吉宗による植樹がその始まり。明治20年建立の碑には桜の由来が書かれている。てん額は榎本武揚の書。
7	森鷗外生育の地(本所高校内)	向島 3-37-25	近代を代表する文学者・医学者である鷗外は、津和野藩典医の長男として生まれ、父とともに東京に出て、向島小梅町に住み、その後“曳舟通りの家”へ移った。大正11年、向島弘福寺に葬られた。
8	「正気之歌」碑(隅田公園内)	向島 1	幕末、この地の水戸藩主下屋敷に幽閉された尊王思想家藤田東湖が同士の士気高揚のために作ったかの「正気之歌」。明治維新を前に志士の間で愛唱された。
9	堀辰雄住居跡	向島 1-7-6	「風立ちぬ」等の名作で知られる堀辰雄は小学校から大学までをこの地で過ごした。のち、辰雄の親戚筋である石川家の住居となっていた。
10	立花大正民家園旧小山家住宅	立花 6-13-17	大正創建の建物は江戸時代からの農家と町屋の雰囲気伝える。庭園には七福神の石造が置かれている。
11	子育て地藏尊(靈性院内)	横川 1-3-20	井戸にはその清水を飲めば悪疫を逃れるという子育て地藏尊がある。
12	川尻清潭の墓(源光寺内)	本所 2-13-14	歌舞伎の演出家として一時代を築いた川尻清潭。その記念碑には、清潭の句と久保田万太郎の句が刻まれている。
13	徳山稲荷	石原 1-36-10	本所築地奉行、徳山五兵衛重政の屋敷稲荷。境内には、大泥棒日本左衛門の碑がある。
14	伊藤左千夫牧舎兼住居跡	江東橋 3-13	明治22年、26歳の左千夫がこの地で牛乳搾取業を営んだことを記念して歌碑が立っている。
15	田螺稲荷	江東橋 3-3	大火でお稲荷さんが類焼しそうになった時、社の池から田螺が続々と這い出して守った、という江戸時代の伝説にちなんだ火防の守り神様。
16	戦災供養碑(菊川公園内)	立川 4-12	昭和20年3月10日の東京大空襲の焼死者供養の記念碑。
17	舟橋聖一誕生の地	横網 1-11	歴史小説の文豪舟橋聖一の誕生の地に代表作「花の生涯」の石碑が見られる。
18	旧安田庭園	横網 1-12-1	隅田川を利用する(現在は人工)、潮入り回遊式庭園。元禄年間に常陸笠間藩主の本庄因幡守により築造。後に富豪安田善次郎の邸宅。
19	東京都慰霊堂(横網町公園内)	横網 2-3-25	関東大震災、東京大空襲の犠牲者約16万人の遺骨を安置。隣接して復興記念館がある。
20	小林一茶・立川焉馬の旧居跡碑	緑 1-3	庶民に親しまれ多くの名句を残した俳人小林一茶と中興江戸落語の祖立川焉馬の旧居跡の碑がある。
21	与兵衛ずし跡	両国 1-8-8	江戸前握り鮎発祥の地。華屋与兵衛がこはだの握り鮎を考案し売り歩いたところ、飛ぶように売れ、屋台を出して、店をもつようになった。
22	吉良邸跡(本所松坂町公園)	両国 3-13-9	吉良家屋敷地の76分の1のミニチュアながらなまこ壁や園内の「吉良首洗い井戸」が往時をしのばせる。
23	塩原橋	両国 3-1 千歳 1-9	講談や浪曲でおなじみの塩原多助のモデル、新商塩原太助の店が近かったことにちなむ。
24	勝海舟誕生の地(両国公園内)	両国 4-25-3	勝海舟は文政6年、この地の父方の実家男谷家に誕生。その記念碑がある。少年期は本所入江町(緑四丁目)など、本所を転々とする。

25	芥川龍之介の文学碑 (両国小学校)	両国 4-26-6	両国は龍之介の成育の地。文学碑には代表作「杜子春」の一節が刻まれている。
----	----------------------	--------------	--------------------------------------

参考：「墨田区観光プラン策定に向けた観光資源基礎調査報告書」(平成16年3月)、墨田区文化観光協会ホームページ、墨田区ホームページ 他

〔墨田区が舞台となった主な文学・歌舞伎等〕

No.	作者	作品・舞台等
1	世阿弥元清 他	能「隅田川」で梅若伝説を描く
2	永井 荷風	「遷東綺譚」で玉ノ井を描く
3	泉 鏡花	「入子話」で向島百花園、「鴛鴦帳」で隅田川神社近辺を記述
4	林 芙美子	「下町」で隅田川を描く
5	吉行 淳之介	「原色の街」で鳩の街を描く
6	池波 正太郎	「鬼平犯科帳」で本所松坂町一帯、「剣客商売」で鐘ヶ淵一帯を描く
7	芥川 龍之介	「大川の水」、「本所両国」等で、隅田川等を描く
8	久保田 万太郎	「むかしの仲間」で向島百花園を描く
9	堀 辰雄	「幼年時代」、「花をもてる女」等で、向島の風土を描く
10	谷崎 潤一郎	初期の作品に、隅田川を中心とした下町を描いた作品が多い

(3) 博物館(含：小さな博物館、工房ショップ)・資料館

区内には、年間180万人以上の観光客が訪れる江戸東京博物館の他、地震や火災など防災について学習する本所防災館、花火の歴史や製造方法を学ぶ両国花火資料館など、特色ある大小さまざまな博物館が立地している。また、3M運動の一環である小さな博物館は現在25箇所あり、製造の現場で伝統技術に触れられる博物館として人気が高い。

ただし、小さな博物館については、営業日時が不統一、所在地がわかりにくいなどの課題がある。

No.	名称	所在地	特色
1	江戸東京博物館	横網 1-4-1	江戸から昭和にかけての東京の歴史・文化・風俗等を展示。地下1階、地上7階の巨大な吹き抜け空間に、江戸や昭和の町並みが再現されている。復元された日本橋が圧巻。
2	すみだ郷土文化資料館	向島 2-3-5	隅田川を中心とした墨田区の歴史・伝統文化を紹介し、その遺産を継承していくことを目的としたユニークな“ふるさと博物館”。保存資料はもちろん、模型やマルチメディアなどを駆使しさまざまな趣向をこらして紹介。
3	東武博物館	東向島 4-28-16	交通と文化を映像、写真、模型で展示。向島について紹介するコーナーがある。
4	すみだ生涯学習センター	東向島 2-38-7	生涯学習活動の拠点。プラネタリウムやメディアコーナーなどがある。
5	本所防災館	横川 4-6-6	地震・火災などの防災体験学習空間。
6	両国花火資料館	両国 2-10-8	花火の歴史や芸術性を紹介・展示し、江戸情緒をちりばめた視覚的な博物館。
7	東京復興記念館	横網 2-3-25	関東大震災直後の写生油絵他、震災、戦災関係資料を展示。
8	すみだ環境ふれあい館	文花 1-32-9	環境や雨水利用、リサイクルに関する総合学習の拠点。探検家の関野吉晴氏が成し遂げた「グレートジャーニー」の軌跡を大陸別にまとめた写真、実際に使用したテントなどの装備品を展示。
9	相撲資料館	横網 1-3-8	国技館の1階に併設された相撲博物館には、錦絵、写真、化粧まわし、番付など、ゆかりの資料約3万点が収録。
10	軟式野球資料室	墨田 2-36-10	軟式野球ボールやグラブなどの歴史や製造工程を紹介。

11	セイコー時計資料館	東向島 3-9-7	国内及び海外の時計に関する資料を展示。
12	墨田住宅センター木造建築資料館	堤通 1-7-16	木造建築技術にまつわる書物、文献、パネルを収集、展示。
13	小林人形資料館	八広 6-31-2	日本人形の製造工程を紹介。青い目の答礼人形もある。
14	古伊万里資料館	八広 5-23-9	古伊万里の茶碗、江戸時代の長火鉢、茶ダンスなどを展示。
15	江戸小紋博物館	八広 2-26-9	400年の歴史を持つ東京染小紋やその作業工程、道具などを紹介。
16	羽子板資料館	向島 5-43-25	押絵羽子板の歴史や製作工程、道具類を紹介。
17	江戸木目込人形博物館	向島 2-11-7	大正時代から現代までのひな人形や人形製作の道具、材料など、約50点を展示。製作作業の見学も可能。
18	合金鋳物博物館	文花 2-4-14	ドアの取っ手、ベルトのバックル、鋳物製の手形など、約200点を展示。
19	藍染博物館	京島 1-29-1	藍染の歴史、製作工程のほか、浴衣やのれん、型紙などの作品を展示。
20	屏風博物館	向島 1-31-6	奈良時代からの世相をうつす屏風やその製作工程、道具や金具などを展示。
21	墨田住宅センター能面博物館	業平 5-10-5	館長が趣味ではじめた能面づくりの製作工程をパネルで紹介。50点あまりの作品を展示。
22	乾燥木材工芸資料館	錦糸 2-9-11	指物技術を駆使して作られた民芸品やオブジェなどさまざまな作品を展示。子ども用に動物型のピースを組み合わせるパズルがある。
23	プレーキ博物館	江東橋 1-5-5	プレーキの変遷や各種プレーキの展示のほか、実車カットモデルによる疑似体験も可能。
24	ベッ甲資料館	横網 2-5-5	100年以上前のベッ甲製品や細工に欠かせない小道具を公開。
25	木彫資料館	石原 1-13-3	透かし彫りを中心とした木彫り彫刻や、全国の観光土産として作られた彫刻品など、さまざまな資料を展示。
26	相撲写真資料館	両国 3-13-2	国技館変遷の写真や歴代横綱の写真を展示。
27	足袋資料館	緑 1-9-3	足袋づくりの道具や多くの力士の足型が見られる。
28	桐の博物館	両国 4-1-8	江戸時代からの桐製品の歴史やその製作工程・道具などを展示。
29	金庫と鍵の博物館	千歳 3-4-1	旧日本陸軍が作成した世界にひとつしかない金庫をはじめ、貴重な金庫や鍵の数々を展示。
30	墨田住宅センター建築道具・木組資料館	菊川 1-5-3	明治時代の建築道具、建築模型や図面をはじめ、さまざまな木造住宅の柱の組み方を実物で紹介。
31	折箱博物館「木具輪」	立川 1-3-5	折箱、木箱、経木など、日本の伝統的な食品容器を100点あまり展示。
32	袋物博物館	両国 1-1-7	江戸時代から現代に至るまでの小銭入れ、札入れ、煙草入れなどの袋物や、手動ミシンなどの製作道具を展示。
33	NTT ドコモ歴史展示スクエア	横網 1-9-2	移動通信技術の進化の過程を映像と文字で紹介。自動車、携帯電話などを展示。
34	新藤ギャラリー	横網 1-10-5	世界最古の印刷物として知られる「百万塔陀羅尼 木製三重小塔」とその経文をはじめ、印刷機、版画絵など、印刷の歴史や変遷に関する展示。

※10～34は、小さな博物館。

参考：「墨田区観光プラン策定に向けた観光資源基礎調査報告書」（平成16年3月）、墨田区文化観光協会ホームページ、墨田区ホームページ 他

(4) 祭・催事・イベント

区内では、四季を通じて多彩な祭やイベントが催されている。

中には、墨堤さくらまつり、隅田川花火大会など全国的に知られる大規模なものから、すみだまつり・こどもまつりといった区民を対象としたものまで、その規模、対

象はさまざまである。また、七草がゆ、梅若忌、杉山検校祭、筆供養、鍼供養といった、伝統的ないわれのある催事も多数開催されている。

イベントの開催に当たっては、対象者の範囲や実施の規模等、イベントの特性に応じた情報発信が課題である。とくに、観光客の誘致に結びつけるイベントに関しては、適切なタイミングで、効果的な情報を発信する必要がある。

月	名称	会場	特色
1	隅田川七福神めぐり	多門寺、白鬚神社、向島百花園、長命寺、弘福寺、三囲神社	全行程約3.1km。元旦から七草までご開帳。
	七草がゆの会	法恩寺・向島百花園	向島百花園では、園内で栽培した春の七草を「七草籠」にして、宮中に献納している 法恩寺では、この日が先祖上人の命日に当たり、その供養と人々の無病息災を願って、10年ほど前から七草がゆを無料で振舞っている。
	大相撲初場所	国技館	
2	初午祭	三輪里稻荷神社	難病を治すコンニャクの護符が有名。
	江戸系あやつり人形	向島百花園 御成座敷	
	梅まつり	向島百花園	投扇興、江戸大道芸などの催しがある。
	水行国禱会	能勢妙見堂	涅槃会の2月15日に修行僧が、国家の安泰を祈り冷水を頭からかぶる。
	香梅園梅まつり	香取神社	85種類120本の花梅が咲く。梅まつり後、3月初旬まで庭園は公開。
	国技館 5000人の第九コンサート	国技館	1984年4月に第1回を開催。2007年で23回目を迎えた。
3	23万人の平和祈念事業	すみだリバーサイドホール	平和への祈りを込めた10万羽の折鶴やオブジェ、絵画、俳句などのメッセージを展示。
	春季大法要（東京大空襲）	東京都慰霊堂	1945年3月9日夜半から10日にかけての空襲の犠牲者を追悼し、平和を祈願する。
	さくら堤通り花まつり	都立東白鬚公園	産地直送物産模擬店、フリーマーケットなどを開催。
	墨堤さくらまつり	隅田公園	～4月初頭まで。向島芸者の芸妓茶屋や大道芸など。
	錦糸公園桜まつり	錦糸公園	～4月初頭まで
4	梅若忌	木母寺	梅若丸の忌日に行われる。念仏供養と歌や踊りを奉納。
	早慶レガッタ	隅田川	2005年で100周年を迎えた。
	ガラス市	長崎橋広場	江戸硝子の作品展示や体験コーナーもある。10月にも開催。
	すみだ鯉のぼりフェア	都立東白鬚公園	～5月初頭まで。バザーやフリーマーケットを同時開催。
5	ぼんでん祭り	白鬚神社	青竹に紙の御幣を付けた梵天を舟に乗せ、悪疫退散と水難よけを祈願する。
	両国にぎわい春まつり	両国国技館通り、国技館、江戸博、回向院	両国協力が中心となり、地元企業や施設のPRを目的に開催。ちゃんこ食べ比べ、相撲体験、両国界隈散歩ツアーなど多彩な催しがある。
	徳之山まつり	徳之山稲荷	
	大相撲五月場所	国技館	
	杉山検校祭	江島杉山神社	杉山和一の徳をしのび、学術講習会、琵琶の奉納など。
	東京都ウォークラリー大会	江戸東京博物館ひろば	
	木遣り歌奉納	三囲神社	木遣り塚前で、江戸消防記念会員が木遣り歌を奉納。
	万燈神輿 隅田稲荷神社例大祭	隅田稲荷神社	五代目善左衛門がお伊勢参りの道中に、難儀を助けた8人の僧を万燈に仕立てた。
7	隅田川花火大会	第1会場桜橋下流 第2会場駒形橋下流	2007年で29回目を迎えた。
	すみだサマーフェスティバル	都立東白鬚公園	ちびっ子プール、スイカ割り、親子フリーマーケットなど、家族で楽しめるイベント。

8	区民納涼盆踊り大会	錦糸公園	
	納涼の夕べ	旧安田庭園	庭園を夜間開放し、茶席、琴・尺八の演奏、俳句の指導など、日本の風情を楽しむ。
	両国夏祭り盆踊り大会	国技館通り	例年2,000人が参加し、地元子どもの模擬店が多数出店。
	ウォーターフェア・隅田川レガッタ	隅田川（桜橋→吾妻橋）	「水の週間」のイベントのひとつとして開催。
	大東京「和」おどり	隅田川両岸	吾妻橋から桜橋に至る隅田川両岸で盆踊りを踊る。主催はNPO法人隅田川・江戸文化観光振興会。
	虫さきの会	向島百花園	
	隅田川おどり納涼大会	墨田区役所・うるおい広場	2006年で28回目を迎えた盆踊り大会。
	錦糸町河内音頭大盆踊り大会	豎川親水公園	踊りや衣装を競うコンテストもある。
川のほとりのピアテラス「吾妻橋フェスト」	墨田区役所・うるおい広場・隅田川親水テラス	ビールを飲みながら、ライブ、大道芸等を楽しむ。	
9	秋季大法要（関東大震災）	都立横網町公園	毎年9月1日に関東大震災の犠牲者を追悼する。
	大相撲秋場所	国技館	
	萩まつり	向島百花園	
	月見の会	向島百花園	中秋の名月の3日間。お茶会や琴で観月を楽しむ。
	鍼供養	弥勒寺	杉山流鍼術の創始者、杉山検校の墓前で行われる。
	都民スポレクふれあい大会・ウォークラリー	江戸東京博物館	
10	すみだまつり・こどもまつり	錦糸公園・野球場	向島芸妓踊りや交流自治体の物産展などを開催。
	ガラス市	大横川親水公園長崎橋広場	江戸硝子、江戸切子、その他のガラス製品を特別価格で販売。
	大江戸両国からくり祭	両国シティコアセンターラザ・シアターX劇場前	水芸、手妻（江戸時代の手品）、軽業などを披露する。
	秋のすみだ粋と技のめぐり歩き		3M運動PR実行委員会。
	慰霊菊花展	横網町公園	
11	すみだ匠の競演	墨田区役所2階、すみだリバーサイドホール・イベントホール	墨田区マイスター等による伝統技術の実演コーナー、体験コーナー。
	すみだ太鼓まつり	江戸東京博物館ホール	子どもから大人まで、日ごろの練習の成果を競う。
	秋葉神社鎮火祭	秋葉神社	境内で日本舞踊の奉納。火伏せの御幣が配られる。
	筆供養	弥勒寺	使い古した毛筆を供養する。お炊き上げをして、毛筆の上達を祈願する。
12	義士茶会	江戸東京博物館会議室	忠臣蔵ゆかりの流派である宗偏流によって行われる。
	義士祭	本所松坂町公園内	討ち入り舞台の地で赤穂浪士四十七士をたたえる祭り。
	吉良祭・元禄市	本所松坂町公園周辺	吉良上野介を供養しようと、昭和48年から始まった。
	すみだイルミネーション	都立東白鬚公園	南池周辺で、日没からイルミネーションを点灯。大晦日にはカウントダウンもある。

その他、白鬚神社例祭（6月）、隅田川神社例祭（6月）、白髭神社例祭（9月）、香取神社例祭（9月）、飛木稲荷神社例祭（9月）、牛嶋神社例祭（9月）などの祭りがある。

参考：墨田区文化観光協会ホームページ、墨田区ホームページ、まっぐるマガジン「両国・錦糸町・向島」他を参照。

（5）その他の資源（ホール、相撲関連、商店街、食 等）

区内には、これまで見た資源以外にも、来街者誘致に結びつく多様な資源が存在する。以下にそのいくつかを紹介する。

①ホール、劇場等

区内には、広く一般の人たちの集客が可能なホールや劇場として、すみだトリフォ

ニーホール（錦糸町・音楽ホール）、シアターX（両国・劇場）、お江戸両国亭（両国・寄席演芸場）等が存在する。

中でも、すみだトリフォニーホールは、小澤征爾氏が桂冠名誉指揮者を務め、「新日本フィルハーモニー交響楽団」とフランチャイズ提携を結んだ本格的なホールであり集客率が高い。また1992年にオープンしたシアターXは、客席数300の小さな劇場ではあるが、レパートリーシステムの導入や俳優養成などに積極的に取り組んでおり固定客も多い。近年は、シアターX周辺を会場とした「大江戸両国・からくり祭」が開催されるなど、地元との交流も生まれている。

ただし、これらのホールや劇場への集客が、周辺地域への経済活性化の波及効果として必ずしも結びついていないのが現状である。コンサートや観劇を目的に訪れた人が街を歩き、ショッピングや食事を楽しむ仕掛けと魅力的な情報発信が課題である。

②相撲関連施設

両国駅周辺には、両国国技館をはじめとする相撲関連施設が多数存在する。国技館の中には相撲博物館があり、錦絵や化粧回しなど貴重な資料が展示されている。

現在区内には20の相撲部屋がある。また、亀沢にある野見宿禰神社は、相撲の開祖野見宿禰をまつた神社で、境内には歴代横綱の石碑がある。江戸時代に勧進相撲興行が行われた回向院には、歴代年寄りの慰霊のために建立された力塚がある。

国技館の一带には、ちゃんこ料理店が集積しており、相撲に関連する和菓子やグッズの販売、大型の足袋、履物、衣類などを売る店も存在している。

③商店街・商業施設・銘品名店会

京島一带には、キラキラ橋商店街、地蔵通り商店街など下町の風情を残した昔ながらの地域密着型商店街がある。とくにキラキラ橋商店街は、キラキラブランドの立ち上げ、朝市の開催、早稲田大学や多摩美術大学、地元商業高等学校との交流によるイベントの開催等、積極的な取り組みを進めており、全国からの視察も多い。また、人情味あふれた商店街の街並みは、ドラマのロケ地などにも活用されている。

錦糸町一带には、丸井錦糸町店、アルカキット錦糸町店、TERMINA、LIVIN 錦糸町店など、個性的な大型商業施設が多数立地している。また、インド、韓国、メキシコ、スペイン、タイなどの多国籍料理店が軒を連ねている。

区内の代表的な土産品店、食事処としては、墨田区銘品名店会加盟店がある。

3 来街者の状況

(1) 主要施設の入り込み客数

区内の主要施設の年間集客数は、以下のとおりである。

全国的な集客力のある施設は、江戸東京博物館と国技館の2施設がある。国技館の数値は年3回の相撲の本場所への入場者の推計値で、相撲興行、コンサート、式典、スポーツ大会等多様なイベントなどの各種イベントの入場者数は含まれていない。

タワー街区には年間2,000万人程度の来場者があると試算されているが、これら区内施設に足を運んでもらう工夫が必要である。ただし、収容人数に限られる施設もあり、施設規模に見合ったPRやプログラム編成が必要となる。

施設名	平成16年度	平成17年度	平成18年度
国技館	450,000人	450,000人	450,000人
江戸東京博物館	1,523,592人	1,186,217人	1,817,934人
向島百花園	105,883人	119,111人	138,997人
すみだトリフォニーホール	195,744人	211,059人	209,159人
両国花火資料館	4,800人	4,057人	3,980人
すみだ郷土文化資料館	17,416人	14,560人	14,545人
東武博物館	100,270人	86,085人	105,696人
相撲博物館	48,000人	42,953人	55,907人
本所防災館	98,189人	102,921人	104,074人
小さな博物館	42,000人	41,660人	35,000人
シアターx	34,320人	39,774人	35,188人

(2) 主要イベントの参加者数

区内で開催される主なイベントの参加者数は、以下のとおりである。

最も参加者が多いのは、毎年7月に開催される隅田川花火大会で100万人近い人出がある。また、墨堤さくらまつり、すみだまつり・こどもまつりにも、数十万人単位で人が訪れている。

いずれのイベントも、会場の収容人数や開催日数によって、参加者数には限界があり、単に参加者数を増やすだけでなく、参加者の満足度を上げることが重要である。また、イベントに参加した人たちを、いかに他の資源へと結びつけるかが課題である。

イベント名	平成16年度	平成17年度	平成18年度
墨堤さくらまつり	288,000人	288,100人	275,600人
隅田川花火大会(他区を含む)	973,500人	955,500人	958,000人
すみだまつり・こどもまつり	210,000人	320,000人	280,000人
隅田川七福神めぐり	25,000人	20,000人	17,500人
納涼の夕べ	4,700人	5,100人	5,800人
吉良祭・元禄市	35,000人	80,000人	70,000人

(3) 主要駅の乗降客数

区内には、東日本旅客鉄道（JR）、東武鉄道、京成電鉄、都営地下鉄、東京メトロの3本の鉄道と2本の地下鉄が走っている。

もっとも乗降客数（乗車人員と降車人員の合計）が多いのは、東京駅に直結するJR錦糸町駅の69,436,140人（1日平均190,236人）であり、次いでJR両国駅28,766,380人（1日平均78,812人）、東京メトロ錦糸町駅25,278,075人（1日平均69,255人）の順である。

今後は、タワー建設が進む押上駅、業平橋駅の乗降客数が飛躍的に増加すると考えられる。

4 宣伝・案内

墨田区の観光に関する宣伝・案内としては、各種パンフレット、マップ等の作成・配布、ホームページの開設、すみだ観光ボランティアガイドの設置、各種観光コーナーの開設等がある。これらは、墨田区が実施しているものの他、墨田区文化観光協会、すみだ銘品名店会、NPO 法人隅田川・江戸文化観光振興会等各種団体が独自に行っているものがある。

(1) ホームページ

墨田区のホームページでは、墨田区の紹介の中で、主要な観光スポットとして資源を紹介する他、見所・名物として本所七不思議や相撲部屋、博物館等を紹介している。また、すみだ散策ツアーとして、本所・両国・錦糸町コースと向島・墨堤コースの2つのコースを紹介し、その魅力を伝えている。関連リンクとして、墨田区文化観光協会へのリンクが張られている。

墨田区文化観光協会では、年間行事や飲食店、宿泊施設などを掲載した、詳細なホームページを作成している。その他、NPO 法人すみだ学習ガーデンでは、「ガーちゃん・デンくんが行くすみだあれこれ」と題して、シリーズで読み物風に墨田区の観光ポイントやイベントを紹介するなど、多様なホームページが作成されている。

(2) 観光コーナー

区内には、2箇所の常設の観光コーナー・案内所があり、いずれも運営は墨田区文化観光協会がおこなっている。また、イベント開催時には、臨時的な観光コーナーを開設し、情報発信に努めている。さらに、平成19年10月から、「すみだ界限 街あるき案内所」が、区内9箇所に設置されている。

①すみだ観光案内所

区内の街歩き観光の推進拠点として、平成18年7月25日吾妻橋地区に開設。開業時間は、年末年始を除く午前10時から午後6時まで。観光パンフレットやマップの配布、各種問い合わせへの対応、関連グッズの販売、観光ボランティアガイドの申し込み受付等を行っている。専任スタッフを置き、英語等外国語での対応も可能である。

平成18年度は、247日の開業で、約9,900人の利用があった。

②文化観光コーナー

平成5年3月の江戸東京博物館開館に合わせ、同館の1階に開設された。各種資料の配布や案内の他、関連グッズの販売、区内銘菓の販売等を行っている。平成18年度は、316日営業、売り上げ総額は62,272千円である。

③すみだ界限 街あるき案内処

『すみだ界限 街あるき案内処』事業として、区内9店舗に観光パンフレットやマップを常備し、地元ならではの情報提供を行っている。

5 担い手組織・団体

「墨田区文化観光協会」は、1983年に区内の約200の団体によって設立された全区的な組織である。収入の約8割（平成18年度収入で81,982千円中63,313千円）が区の補助金で運営されている。現在法人化に向けた検討を進めている。

他に「NPO 法人隅田川・江戸文化振興会」、「NPO 法人本所・深川」など、複数の組織・団体が、地域の活性化を目的とした観光のまちづくりに取り組んでいる。

団体名	墨田区文化観光協会	設立年月	1983年7月
構成	町会・自治会、文化団体、経済団体、企業など約200団体により設立。設立時発起人215人。		
目的	平成19年3月31日現在、会員数568人。 墨田区における文化の振興、観光の開発を図り、もって地域の活性化に寄与すること。		
主な活動内容	①主催事業：墨堤さくらまつり、納涼の夕べ、忠臣蔵イベント 等 ②宣伝・案内：すみだ観光案内所の設置・運営、江戸博文化観光コーナーの運営、観光ガイドマップの作成・配布、ホームページの開設 等 ③観光振興プランへの取り組み：すみだ観光プロデューサーの委嘱、水辺のオープンカフェの開設、浅草地区等との協力、新タワーのPR 等 ④後援事業：各種文化観光行事等への後援 等		
備考	・平成18年度収支決算：収入総額81,982,847円、支出総額76,716,127円。 ・現在、法人化に向けた検討を進めている。		

団体名	NPO 法人隅田川・江戸文化振興会	設立年月	2006年3月
目的	浅草・両国・向島など江戸以来の伝統文化が集積する隅田川周辺地域に住む人々とその地域を訪れる人々を対象として、地域の活性化に関する情報の収集・提供、調査・研究、イベントの企画・運営、伝統文化の振興に関する事業並びに各方面に対する提言・支援等の事業を行うことにより、地域の活性化及び観光まちづくりの推進に寄与すること。		
主な活動内容	①観光案内所における外国人等への案内・情報提供 ②外国人も参加できるイベントの開催：大東京おどり 等 ③隅田川舟運の試験運航 ④江戸東京文化カレッジの開催 ⑤浅草および両国、向島を紹介する日本語、英語、韓国語、中国語によるウェブサイトの開設 ⑥浅草および両国、向島の広域観光マップの制作 等		
課題等	・上記事業については、国土交通省観光ルネッサンス補助金の交付対象として実施しているが、2007年度で補助事業は終了するため、その後の財政面をどうするかが課題である。		

団体名	NPO 法人本所・深川	設立年月	2005年10月
構成	住民、商店主、小学校の校長、大学の教授など多彩なメンバーから構成されている。		
目的	「くらし支援」「まち育て」「安全安心」を3つの柱に、本所深川を緩やかなひとつの生活圏とし、歴史や日常生活を大切にしながら、一人ひとりが安心して暮らすことのできる地域社会を目指す。		
主な活動内容	①「春！船と桜で深川日和」、「本所深川散歩—まちを知って・見て・味わう」（これまで5回開催）、写真展「昭和の本所深川の風景」、「歴史と文化のまち・本所深川をまなぶ」等を開催。		
課題等	・現在は、深川（江東区側）の会員が多い。今後は、本所（墨田区側）の会員を増やしていく。		

団体名	NPO 法人向島学会	設立年月	2002年4月設立 2007年法人化
目的	「向島」に関する、学術・芸術等の成果を集約し、このまちで生活する人たちに役立つ仕組みづくりを提案・推進する。		
主な活動内容	※向島：隅田川、荒川、中川、綾瀬川、北十間川に囲まれた地域。 ①地域資源の情報収集及び提供事業 ②地域活性化活動の支援事業 ③住まい・まちづくりに関する調査研究事業 ④アートとまちに関する講座及びイベント事業 ⑤他の市民団体との交流事業 ⑥その他この法人の目的達成のため必要な事業 平成19年度の主な事業は以下のとおり。 ・新東京タワー周辺のまちづくりに関するシンポジウム ・親子落語会@カフェ ・アートまち大学2007-地域資源を活かしたアート・まちプロジェクト実践講座- ・向島での現代アート活動・10年の記録展 ・現代美術製作所『向島芸術計画2007』等		

団体名	すみだ観光ボランティアガイドの会	設立年月	2003年12月
構成	文化観光協会が生涯学習センターで開催したボランティア養成講座履修生により結成。現在4期まで終了し、45名が参加。		
主な活動内容	①墨田区文化観光協会を窓口とした、個別ボランティアの対応。 ②定点ガイドとしての「両国街歩きツアー」の開催。		
課題等	・ガイド技術や説明内容の統一、会員の拡大が課題である。 ・将来的には、ライセンス制の導入による有償ボランティアなどを検討する。		

団体名	両国協力会	設立年月	2003年
目的	両国の魅力を多くの方々に伝えるとともに、主体的・積極的に地域経済の向上及び活性化に寄与することを目的とする、両国を基盤とした地元企業等自主的な集まり。		
主な活動内容	①両国界隈での催し物（両国にぎわい春まつり） ②共同販売活動及び両国の広報宣伝活動（「両国にぎわいマップ」作製、「両国散歩BLOG」運営）		
課題等	・地元町会、商店街等の協力体制を構築する必要がある。		

団体名	墨田区銘品名店会	設立年月	1984年8月3日
目的	墨田区において、優れた品質の商品を販売する製造小売店及び飲食店の普及宣伝等を行うことにより、墨田区の観光開発に資することを目的としている。		
主な活動内容	構成員はいわゆる老舗店舗に限られている。 ①小冊子「すみだ 見どころ・味どころ」の発行 ②販売促進用カレンダーの発行 ③HP「墨田銘品名店会」の運営 ④銘品名店会推薦ラベルの共同発注 ⑤すみだまつりアグリムへの共同広告掲載 ⑥イベント時の特設出店		

団体名	向嶋墨堤組合	設立年月	1986年11月15日
目的	高級な料理と待合い処を兼ねた「料亭」（言問料理組合と向嶋料亭組合が合併）、芸妓を料亭へ派遣・後継者育成や芸事を磨く指導など行う「置屋」が合併、統合し「向嶋墨堤組合」として花街全般の総合的な情報管理を行っている。		
主な活動内容	①伝統文化邦楽全般、三味線、笛、太鼓、鼓、唄、舞踊、作法等の指導、育成 ②新人育成に積極的であり、全国でも類を見ない120名を超える芸妓衆の登録数を誇っている。		
課題等	街の情緒を残しながら、利用者層の拡大を図る必要がある。		

団体名	隅田川七福会	設立年月	1898年
構成	三田神社（恵比寿神、大国神） 弘福寺（布袋尊） 長命寺（弁財天） 百花園（福祿寿） 白鬚神社（壽老神） 多聞寺（毘沙門天）		
主な活動内容	①隅田川七福神宝舟、御集印色紙、HP「隅田川七福遊び」の監修・制作		

団体名	墨田区伝統工芸保存会	設立年月	1978年6月
目的	工芸という手仕事を通じて、ただ単に新しいモノを作るだけではなく、「修理・修復・お誂え」を合言葉に、本当に必要で大切なモノは“甦らせ”世の中に“ひとつ”しかない“お誂え品”をすることにより、世代を越えて楽しめる「引き継ぐ文化の暮らし方」の一役を担う。		
主な活動内容	①「すみだ匠の競演」（展覧会）の開催（墨田区役所、隔年）、その他展示会等への出展（随時） ②長野県小布施町との交流（展示、実演等）		

団体名	パルティール （すみだ作る創るの会）	設立年月	1999年7月
目的	「すみだマイスター」有志を中心とするメンバーが、生活者のニーズに応え得る新しい商品の開発と販路の開拓を目指すとともに、技術の継承・発展を掲げて結成された。		
主な活動内容	①展示会 ②その他、区内のイベントの出展など		

団体名	カット倶楽部	設立年	1987年
目的	「和と輪で助けよう私達の街」を趣旨として「下町すみだ」墨堤通りの地域活性化イベント等を企画開催運営するボランティア団体で、主に都立東白鬚公園で活動している。		
主な活動内容	①さくら堤通り花まつり ②すみだ鯉のぼりフェア ③すみだサマーフェスティバル ④すみだイルミネーション&竿燈 など		

団体名	北斎通り街づくりの会	設立年月	2005年9月
目的	地域住民自らが北斎通りの街並みづくりと活性化について考え、行動することにより、住民同士の連携を深め、誇りと愛着を持てる地域とする。		
主な活動内容	①北斎とゆかりのある地域を歩く「北斎ゆかりの地めぐり」 ②北斎祭り ③シンポジウム「北斎館の建設と地域のまちづくり」開催		

団体名	墨田区商店街連合会青年協議会	設立年月	1980年4月
目的	近代的で斬新な経営感覚により、各商店会および区商店街連合会の発展と、消費者の福祉に立脚した各店の繁栄を目指す。		
主な活動内容	①納涼の夕べなどにおけるイベント運営協力など		

団体名	松坂睦		
目的	郷土愛と友情を重んじ、祭礼にあたっては隣接の各町と連絡を密にして事故のないよう町内祭礼委員ならびに関係団体等に協力し、下町文化の発展を図る。		
主な活動内容	①吉良祭・元禄市の開催 など		

団体名	勝海舟顕彰会	設立年月	2004年3月
目的	勝海舟先生を顕彰することを通し、青少年の健全育成およびその環境を創造する。		
主な活動内容	①勝海舟フォーラム など		



墨田区観光振興プラン

～新タワーを活かし、住んでよく、訪れてよい
国際観光都市すみだをつくる～

平成20年1月発行

編集・発行

墨田区地域振興部新タワー・観光推進担当観光推進課
東京都墨田区吾妻橋一丁目23番20号 〒130-8640
電話 03-5608-6500